



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第21号

発行日
平成17年9月1日

◇ 目 次 ◇

特集

- P2 PV5 年間の歩み
- P3 楽しく自然に親しむ
- P4 美しい自然を大切に

- P5 絵の島で自然体験 JPR
- P6 盛夏の鷹ノ巣観察会
- P7 海岸植物調査 編集後記



「シロバナトサムラサキ」

昨年の夏、前田さんと宮島南側、海岸線沿いの道路を腰細浦へ向かう途中、この植物に出会いました。あまりにも見事な「シロバナトサムラサキ」(クマツヅラ科ムラサキシキブ属)にカメラを向けました。

今年のPV 海岸植物調査で腰細浦方向へ行くチャンスが2度もあり、再会を期待していたところ、どうしても見つかりません。考えられることは、昨年の大きな台風で倒れ、倒木整理で姿を消したのではないのでしょうか。

低山林縁の落葉低木、写真のように葉先が尾状に長くとがり、縁に不そろいな粗い鋸歯

があります。

撮影は昨年の6月29日、花は咲き始めたばかりの状態、秋の果実を見ることが出来なくなったのが残念でなりません。

以前ここにあった〇〇が今は見当たらない・・・このようにして、貴重な動植物が現在の環境から消えていくことを目の当たりにした思いでした。

{ 写真・文 } 新 川 博

宮島地区 パーク ボランティアの会

5年間の歩み

宮島地区パークボランティアの会は平成 12 年 6 月の設立総会で正式に発足、以来 5 年の歳月を重ねてきました。また会報「みせん」は同年 9 月に創刊号を発行以来、本紙が 5 周年の 21 号となりました。PV の会 5 年間の活動状況をまとめて特集としました。

PVに期待します

自然保護官 高木 丈子



皆さんパークボランティアになった時の気持ちを覚えていますか？研修資料が残っていますか？もう一度最初の頃を思い出し、国立公園って何なのか、何が PV 活動だったのか再確認してみませんか。そうすれば 5 年間の活動が見直され、新たな目標が出てくると思います。「初心忘るべからず」ですね。

また、ある程度活動が軌道に乗ってきたと思っていますが、欲を言えば新たな出会い、連携、協働を期待したいと思います。

種の多様性が求められるように、人も多様性があるのが当然です。自然の中に生態系というシステムが成り立っているように、様々な考えがあり、お互いに補い、助け合い、相乗することによりすばらしい活動となると信じています。

宮島の自然を守るためにパークボランティアの皆様の活動がその輪を広げる一助になってくれればうれしいことです。

今後も自然保護官は新しい人が来ます。保護官の良きパートナーとして新米保護官を暖かく迎え広島歴史や自然について伝えて貰いたいと思っています。もちろん、おいしい食べ物とか楽しい情報も期待しています。

◇ 略 譜 ◇

- H11/7 会員募集、研修開始
- 12/4 第 1 期会員登録 44 名
- 12/6 設立総会開催
- 12/9 会報「みせん」創刊号発行
- 12/11 臨時総会開催 役員選出
会長・副会長・会計・監査員
- H13/4 自然保護官 杉本頼優→桧垣淳夫
会員総数 43 名
- 14/4 会員総数 49 名（新入会 13 名）
- 14/9 PV 合同交流研修会（大久野島）
- 14/11 臨時総会開催 役員改選
- H15/1 宮島桧垣 2 F に自然保護官詰所
- 15/4 15 年度総会 年会費徴収決定
- 15/9 宮島で三地区 PV 交流会開催
- 16/4 自然保護官 桧垣淳夫→高木丈子
会員総数 48 名（新入会 8 名）
- 16/9 台風 18 号襲来、PV で後始末
- 16/11 臨時総会 役員改選
- H17/2 三地区 PV 交流会（倉敷市）
- H17/4 会員総数 47 名



H12/6 PV 設立総会の出席者

“楽しく自然に親しむ” 宮島PV5周年

▽公募観察会

平成 13 年 5 月に弥山自然観察会を一般公募者 23 人を集めて行いました。以来年 2～3 回のペースで弥山史跡巡りと植物観察に分けて実施しています。参加者も年々増え今年 4 月の植物観察会には過去最高 66 人の一般参加がありました。



弥山史跡巡り 14 年 1 月

▽弥山ガイドブック

平成 13 年度に宮島の自然保護と利用促進を目的として、PV の会で 3 種の冊子を編集発行しました。

1、宮島弥山史跡巡り

中道さんが纏めたものがベースになっていますが、公募観察会の時のテキストとして常時配布されています。

2、宮島弥山原始林の植物

広大植物実験所豊原先生から貴重な資料を提供いただき、会員自ら登山道を実



地踏査して作成した植物マップからなり、植物観察会では参加者から大変喜ばれ

ていますが、そろそろ改訂版をという声も出ています。

3、シカを救うのはわたしたち

フィールドミュージアム（代表金井塚務）のご指導をいただき、宮島のシカを

森に帰す運動に協力して子どもにも分かり易い絵本式の啓発パンフレットを作成し、公募観察会などで配布しています。

▽おおの自然観察の森

会員の自主観察会は宮島だけでなく本土側でも実施するようになり、これまでに「おおの自然観察の森」廿日市の「極楽寺山」対岸沖美町（能美島）の「砲台山」今年になって岩国の「城山」を探訪しました。

▽JPR支援

環境省と文部科学省が毎年夏から秋にかけ実施している子どもパークレンジャー（JPR）活動を支援しています。活動場所は今まで（1）包ヶ浦（2）大久野島（3）戸河内・深入山でしたが、今年は 3 回とも宮島で実施されます。

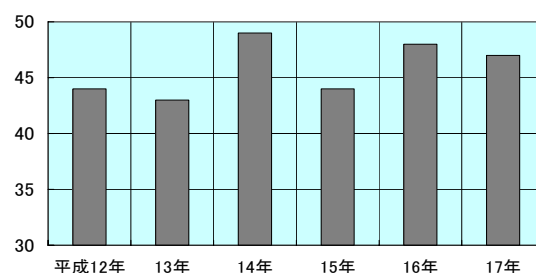
設立時から PV が全面的に協力、海や山での活動体験を通して自然保護の大切さを学ぶ子どもたちの良き相談相手、先生、親がわりの役割を務めてきました。



漂着ゴミ調査 13 年 6 月

○ 会員数推移

現在 47 名のうち設立時からの会員は 30 名



“美しい自然を大切に” 宮島PV5周年

▽登山道の町石

岩崎会員の古文書調査をきっかけに弥山登山道にある町石を2年かけて実地調査しました。その結果宮島町の保存記録との相違、歴史的経緯の推察、見当たらない町石の発見に至り、会員総出で転落町石を引き揚げた時は、新聞にも紹介されました。



崖下からの引き上げ作業、16年12月

▽クリーンデー

毎年8月の自然公園クリーンデーには宮島町内の清掃をすることになっていますが、最近は小名切海岸の清掃を重点的に実施しています。また年次総会、臨時総会の後にも町内清掃を続けています。

▽樹木名板

宮島町からの依頼で主要散策道に樹木名板を取り付ける作業を15年に4回に分けて実施しました。広大植物実験所方式で約600本の樹木に取り付けましたが、杉の浦旧道沿いの名板が多数取り外されているのは残念なことです。



▽鷹ノ巣高砲台跡

平成12年秋、鷹ノ巣高砲台跡を探訪、100年以上埋もれていた歴史的遺産を掘り起こし清掃、整備を行うことになり、14年2月に第1回の作業を行

い今年の5月までに計5回実施しました。

進入路の整備、砲台礎石周りの雑木伐採、監視所跡の整備、連絡階段の掘り起こし、清掃などにより明治時代の構築物が見事に甦りました。

今後公募観察会（歴史文化探訪）ルートに加えて、宮島の新しい観光スポットとして紹介していきたいものです。



掘り出した石段 15年5月

▽登山道整備

弥山登山道は台風の度に被害を受け、その都度修復作業に当たりましたが、昨年の18号台風は瞬間風速60m/secを越す記録的なもので宮島でも甚大な被害を受けました。PVでは急遽予定していた行事を後始末作業に切り替え3回延べ73人の参加者で登山道や包ヶ浦、大元公園の倒木、折枝の整理清掃を実施しました。この活動状況は中国新聞に賞賛する記事が掲載されました。



弥山登山道の修復 16年1月

▽コバンモチ

広大植物実験所に協力し、大川浦地区のコバンモチ（約80本）をシカの食害から護るための保護網取り付け作業を15年1月に実施、それ以来、点検を兼ねた岩船岳登山が年中行事になりました。

絵の島で自然体験

本年度第1回JPRの活動は7月9、10日に行われました。PVでは初日のプログラムを支援するため8人が絵の島に赴きました。

(参加者) 小方ペア 新川 高光 舛田
山根 横路 六重部

朝8:50 宮島口桟橋にスタッフが集合、環境省2人、人間科学研究所3人、カウンセラー(大学生)6人とPV8人の顔合わせの後、役割分担の確認を行って子どもたちを待ちました。天気はあいにくの雨模様。

9:20、お家の方々に送られて子ども達が集まってきました。学校を通じて募集した40人のちびっ子レンジャー達です。

子ども達は6班に分かれ、皆揃いのキャップを渡され嬉しそう、これから明日の夕方まで家を離れての集団生活、さあ全員揃ったところでチャーター船に乗り込み出発です。

絵の島は面積わずか0.21km²、最高点の海拔35m。コの字型をした島で15年前までは海水浴場として賑わっていました。10:00 島に到着、桟橋の跡はありますが、長く放置されていてガタガタ、船の舳先を砂浜に乗り上げて上陸です。

ここからは班毎に分かれて行動。灯台、トンネル、浜辺を回りながら、ちょっとした無人島探検。予定では昼食の後、海水浴をすることになっていましたが、雨のため変更、包ヶ浦に移動して、砂浜や磯の生き物の観察をすることにしました。



雨のなか磯の生き物観察

砂浜や磯はたくさんの生き物であふれていました。子ども達の生き生きとした表情。一緒に遊んだ、こちらまで元気になるような気がします。

再び管理センターに戻って生き物観察のま



とめ。我々の役割はここまで、このあと翌日は「宇宙船地球号の会」によって海岸のゴミと海の生き物との関係を中心にしたプログラムが組まれています、天気予報はあまり芳しくありませんが子ども達は元気いっぱい楽しんで、たくさんの思い出を胸に家路についたことでしょう。(山根 記)

自然公園クリーンディ

日

時 8月7日(日) 9:00~12:00

(参加者) 高木自然保護官

井上 岩崎 小川 佐渡 佐藤 末原
高光 中道 中本 名越 西 平田
古川 舛田 丸平 村上 森 柳瀬
矢吹 横山 横路 六重部

毎年8月第1日曜日は全国一斉の自然公園クリーンデイのため、宮島を美しくする会とともにPVも参加しました。



小名切海岸の清掃

殊のほか厳しい暑さの中、ボランティアの作業区域は、ハマゴウの花が一面に咲いていた小名切海岸の清掃及び進入路の仮設階段作り、桟橋～旧道ののゴミ拾いを行い115kgのゴミを収集しました。ご苦労さんでした。

なお当日は厳島神社で玉取祭が行われたため、作業終了後、勇壮な玉を奪い合う祭りを見学しました。(末原 記)

「みせん」次号発行予定

発行日	12月 1日
原稿締切	10月 末日

盛夏の観察会

鷹ノ巣砲台跡～入浜～包ヶ浦

日時 7月24日(日) 9:00~16:30

(参加者) 足立 池下 井上 小方ペア

小川 佐藤 末原 中道 野呂田 平山

前田(勲) 村上 森川 横路 六重部

梅雨明け後の猛暑の中、「鷹ノ巣高砲台跡」を訪ねる観察会が行われました。

リョウブの白い花やシロダモの緑の実を見ながら登り、中道さんから砲台の歴史について説明を受け、頂上の方位観測所跡からは風光明媚な厳島海峡が広角度で展望出来ました。

その後植物観察しながら下り正午過ぎに入浜へ到着。昼食後のひと時、“まむし名人”森川さんが何時の間にか“まむし”を捕獲したガラス瓶を披露したのは吃驚！



包ヶ浦で磯の生き物調査

帰路は車道を包ヶ浦へ向かいました。つる性の植物が目立つ。1対の唐辛子のような実をつけたサカキカズラ、小さな葡萄のサンカクカヅル、丸い毛毬のカギカズラ、クマヤナギの赤い房状の実がひと際目を引く。期待していたヤマモガシはブラシ状のつぼみをつけ始めたばかりでした。

包ヶ浦では磯の生き物調査をしました。↗

◇ 観察会の予告 ◇

- 岩国吉香公園、城山(歴史と文化)
12月10日(土) 詳細は次号
- 大野経小屋山探訪 来年度に予定
※新たな観察会の希望があれば提案してください (観察部会)

「海的环境指標生物」の中のカメノテやアオガイも散見され、水質判定の評価値は72点・評価レベルは「Ⅱ」(少し汚れた海)だがまずまずでした。宮島周辺の海は、白砂の浜を取り戻しつつあるのだろうか? 今後とも見守っていきたいものです。猛暑の観察会でしたが、充実した1日でした。(横路 記)

岩国城山観察会

日時 6月17日(金) 10:00~15:00

(参加者) 足立 池下 島 新川 平山

前田(勲) 村上 六重部

梅雨の中休みの蒸し暑いなか、このあたりでは宮島と並んで暖地性の樹木の多いことで知られる岩国城山へ登りました。山麓駅の裏から谷沿いの山道に入り、山腹のつづらおりの道を登って尾根に出、岩国城址で昼食。尾根道を南西方向へ歩き護国神社(神社)をめざしましたが、無理をすまいと、その手前で引き返し、標識の無い急坂の山道を下り、午後3時に山麓駅に帰りました。

見どころは色々ありましたが、特に印象に残ったのは400年間も、人手の入らなかった山腹の深い樹林はコジイ、スダジイなどの照葉樹に交じってシイモチ(宮島にない)コバンモチが多く、ヤマモガシの幼木が多数見られたこと、対馬に自生し、本州ではここにしかないフシノハアワブキが城址付近で見られたことです。古生層の地質のせいか樹木が良く育ち、花崗岩地帯の樹林とどこことなく異なる景観でした。事前に下見をされた新川さんの解説で平日のため少人数でしたが、中身の濃い楽しい1日でした。(前田 記)



岩国城山での植物観察会

海岸植物調査終わる

宮島近辺の 18 ヶ所 小方 嗣彬

第 4 回目を 6 月 4 日に、宮島の 3 ヶ所で行い、宮島地区 PV の会担当分の 18 ヶ所の調査が終了しました。この間の延べ参加人数は 74 名で、たくさんのご参加をいただき有難うございました。更に本土側 2 ヶ所も 6 月 11 日に行いました。

この度の調査に参加して、これまで見たこともない宮島を再発見しました。調査の難しい場所も井上さんの船のお陰で難なく調査することが出来ました。お礼申し上げます。



長浦・江の尻浦 5 月 5 日

地図で見ると小さな島ですが、巻尺で計測しながら歩くと、とても広く感じます。そして計測はかなりの忍耐力が必要ですが、皆でわいわい楽しくやって、益々宮島が好きになりました。

しかしどこへ行っても人に出会いました。道がなくても舟で上陸し、バーベキューを楽しむアウトドア派が多いようですが、決して海を汚してほしくないものです。

海岸の砂浜はカキ養殖によるゴミが多いこと。陸側はシカが食べない植物のみが繁殖していること。これも宮島の特徴でしょう。その中でハマゴウはどこの海岸でもたくましく育っていました。

調査の中で昨年の台風 18 号のすさまじさを随所に感じました、海岸に多量の砂を運んでいたり、逆に砂浜が削り取られていたり、大木が根こそぎ倒されたりと、台風は自然の形態を変える大きな要因です。

いつの日か、またこのような調査をする頃には更に変化した宮島になっていることでは

よう。今回調査した資料は近々(財)日本自然保護協会に送付し、写しを宮島詰所に置く予定ですが、まだ報告書や写真整理が未完ですので、閲覧はもうしばらくお待ちください。

ハチクマの渡り観察会

日 時 9 月 23 日 (祝) 10:00 集合
場 所 弥山頂上広場
天 候 小雨決行 (今回は予備日なし)
講 師 近藤会員
持ち物 観察用具 (ある人のみ) 弁当、飲み物、雨具など
解 散 昼食後現地で自由解散
(頂上までの手段)
1、ロープウェイは 9:00 が始発
2、グループ登山 宮島栈橋ふじ棚に
8:00 までに集合

◇ 編 集 後 記 ◇

▼PV の会、5 年間を振り返ると結構多彩な活動をしてきたものだと思っている人も多いのではないのでしょうか。まさに「継続は力なり」です。次の 10 周年に向かって心豊かに楽しいボランティア活動が続けていきたいものです。▼「みせん」もお陰さまで創刊 5 周年、なんとかここまで定期発行が続けて来られたのも会員の皆さんの絶大なるご協力があればこそです。これからはなるべく、今まで投稿したことがない人からの記事、写真を期待しています。 (足 立)

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省自然環境局

広島自然保護官事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号

広島合同庁舎 2 号館 6 階

TEL(082)223-7450・FAX(082)223-7451

宮島詰所

(〒739-0505) 佐伯郡宮島町 1862-18

(宮島栈橋 2 F)